

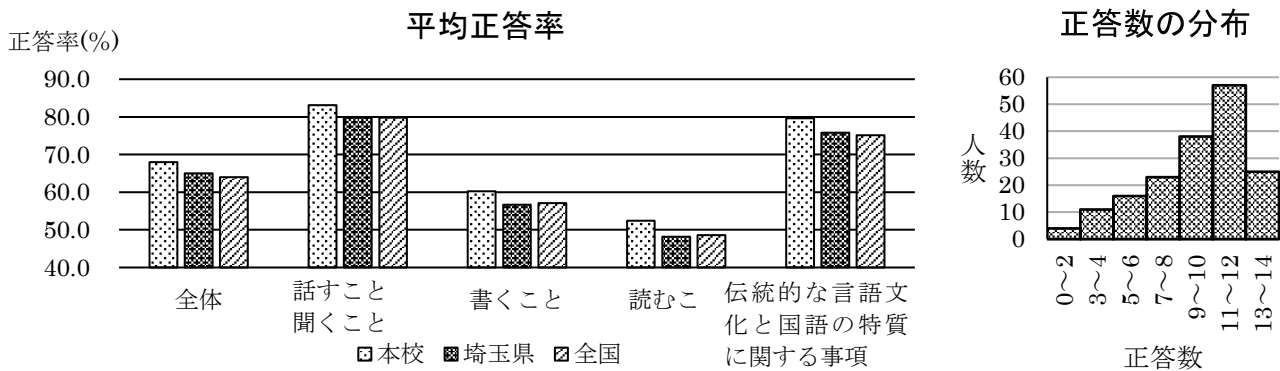
この学力調査は、令和3年度の中学校3年生を対象に実施したものです。したがって、学校全体の傾向を表すものではありません。

また、本分析・考察は全国（公立）及び県（公立）平均との比較をベースにしたものであり、一定の基準をもとにした優劣や、昨年度と比べた経年変化を表すものではありません。

グラフは、成果や課題を表す領域や相関関係があるものについて掲載しました。

## 学力調査の結果と考察

### 国語は「読むこと」に課題



#### 国語で正答率が80%を上回った問題

問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)		
		本校	埼玉	全国
話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	90.2	89.7	89.7
話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	93.7	92.2	92.5
漢字を読む（伸ばして）	文脈に即して漢字を正しく読む	96.0	97.6	97.5
漢字を読む（詳細）	文脈に即して漢字を正しく読む	93.7	90.3	88.8

#### 国語で正答率が50%を下回った問題

問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)		
		本校	埼玉	全国
意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み直し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く	31.0	22.9	24.8
「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ	20.1	21.3	20.5

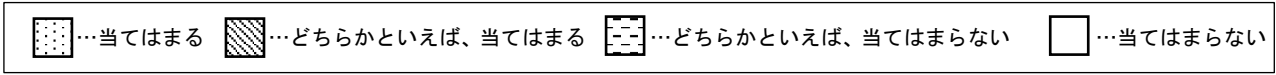
#### <今後の学習指導に当たって>

目的や意図に応じて、読みやすく分かりやすい文章にするためには、読み手の立場に立って文章を整えるようにする必要があります。その際、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などを確かめるように指導していきます。

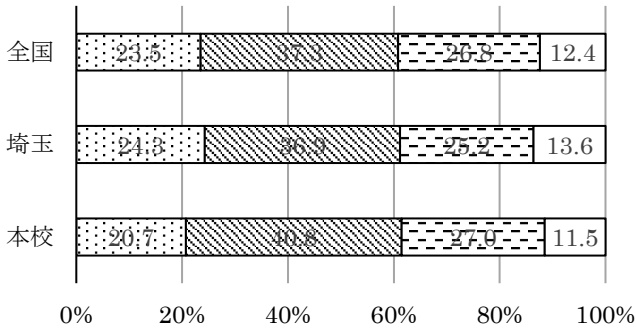
例えば、自分の考えを伝えたり印象付けたりする上で、書いた文章の表現がどのように働いているかを確かめるなどの学習活動が考えられます。その際、自分が書いた文章を説明や具体例、描写などに着目して見直し、これらの表現が、自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるかなどについて検討し、その上で誤解のない表現やより効果的な表現にしていくように指導していきます。

文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするする必要があります。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることによって自分の考えを確かなものにできるように指導します。

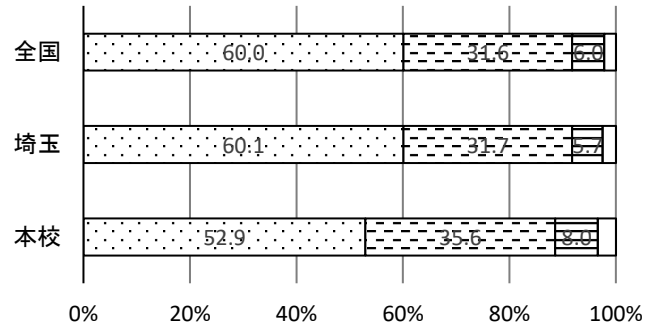
国語に対する意識状況（生徒の興味・関心、授業の理解度等）



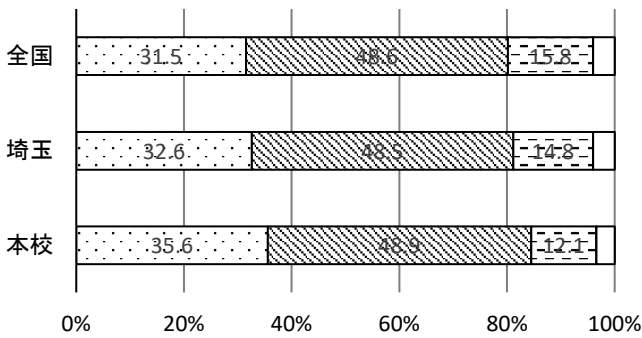
国語の勉強は好きですか



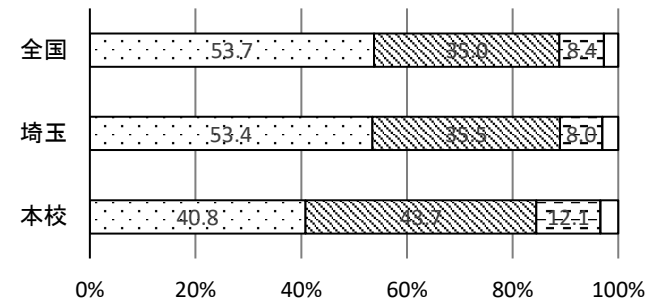
国語の勉強は大切だと思いますか



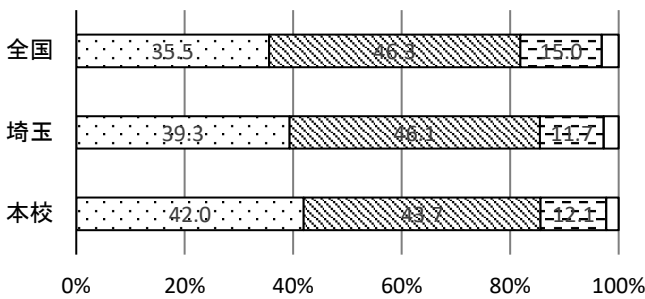
国語の授業の内容はよく分かりますか



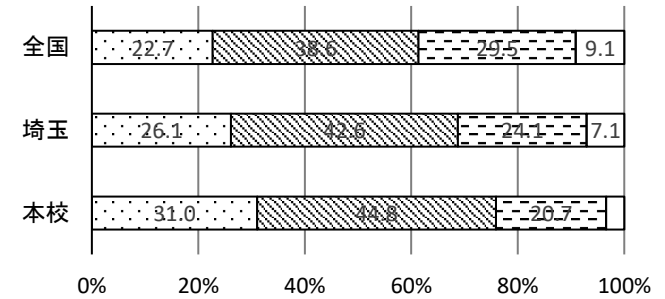
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



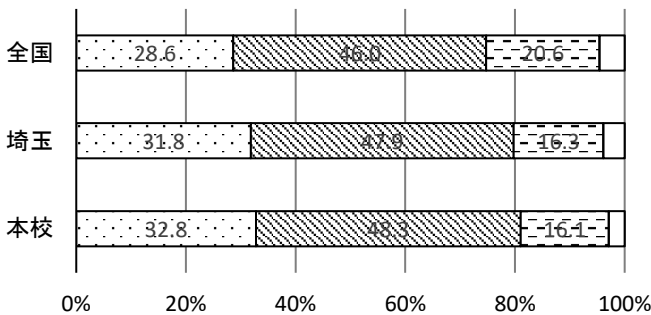
国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか



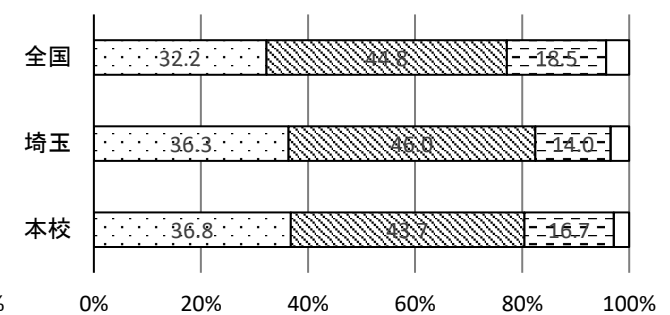
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか



国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか



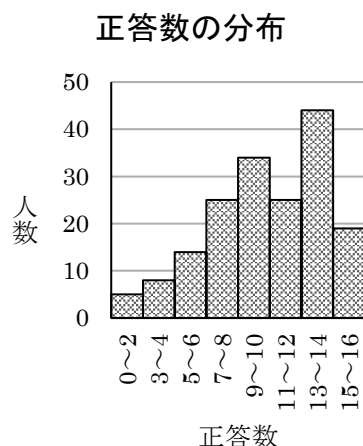
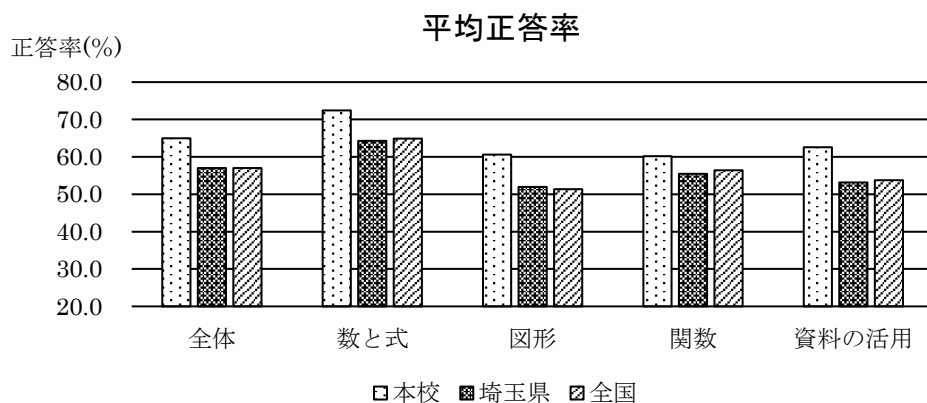
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか



国語に対する意識調査では、「国語の勉強は大切だと思う」「学習したことが将来社会に役立つ」について、肯定的な回答の生徒が8割を超えていますが、全国・埼玉県を下回っています。

そこで、授業において日常生活に関連する内容等を多く取り上げ、国語の大切さや学習したことが役立つという意識を高めていきます。

## 数学は「数学的な見方や考え方」に課題



### 数学で正答率が 80% を上回った問題

問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
		本校	埼玉	全国
$(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する	数式の加法と減法の計算ができる	83.3	78.1	77.1
数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることのできる	84.5	70.3	71.3
反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることのできる	95.4	85.8	84.6
四角で囲んだ4つの数が 12, 13, 17, 18 のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることのできる	86.8	82.3	83.9
与えられた数やグラフから、砂の重さが 75 g のときに、砂が落ちるまでの時間が 36.0 秒であったことを表す点を求める	与えられた数やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることのできる	92.5	93.3	93.5
気温差が 9℃ 以上 12℃ 未満の階級の度数を書く	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることのできる	86.8	82.6	83.0

### 数学で正答率が 50% を下回った問題

問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
		本校	埼玉	全国
四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置になる2つの数の和の2倍であることを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することのできる	39.7	29.1	30.3
与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	図形を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することのできる	31.0	26.2	27.7
「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向がある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することのできる	18.4	9.4	11.1
$\angle ARG$ や $\angle ASG$ 大きさについていつでもいえることを書く	ある事象の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することのできる	40.8	27.7	28.8

### <今後の学習指導に当たって>

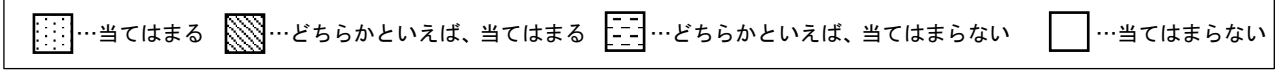
「数と式」分野では、数の性質について成り立つ事柄を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導します。

「図形」分野では、条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだす活動を取り入れ、ある条件の下でいつでも成り立つ性質や関係を捉え、それを数学的に表現することできるように指導をします。

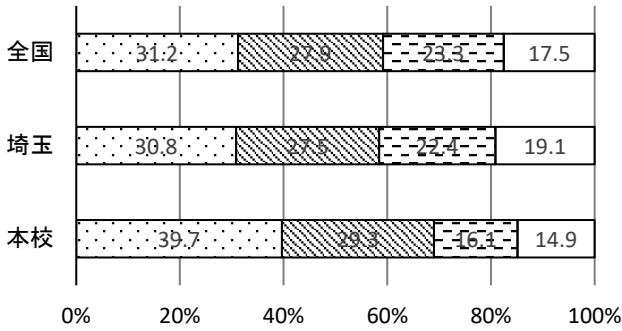
「関数」分野では、日常的な事象における伴って変わる二つの数量について、観察や操作、実験などの活動から得られたデータを、表やグラフに表現することを通して、その二つの数量の関係を捉えることできるように指導します。

「資料の活用」分野では、データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるように指導します。

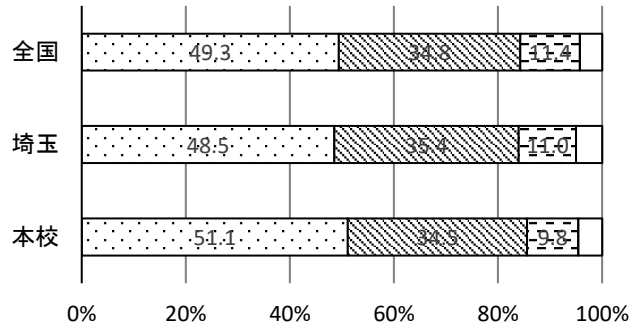
数学に対する意識状況（生徒の興味・関心、授業の理解度等）



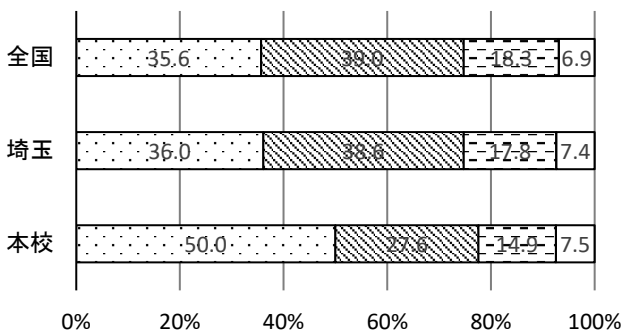
数学の勉強は好きですか



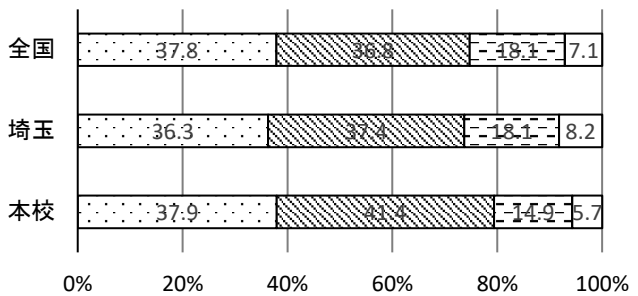
数学の勉強は大切だと思いますか



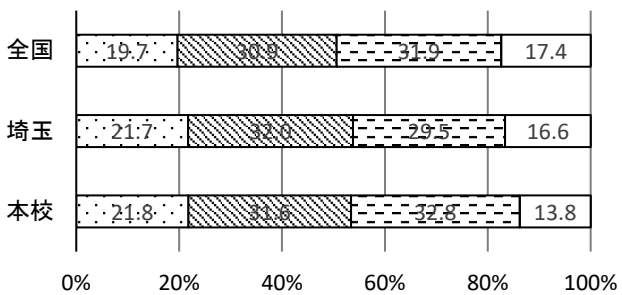
数学の授業の内容はよく分かりますか



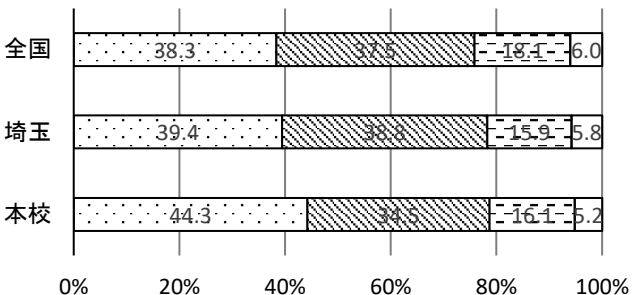
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



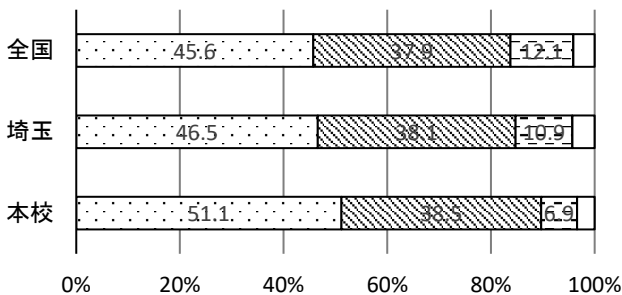
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



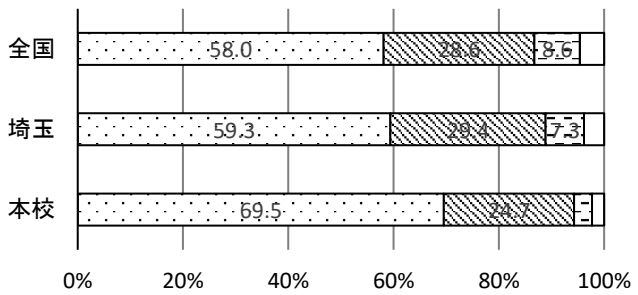
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

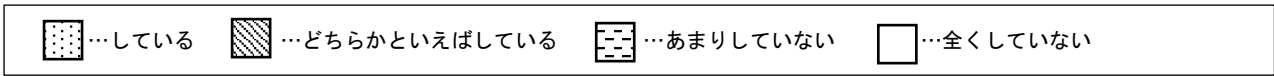


数学に対する意識調査の質問では、すべての項目において、肯定的な回答が全国平均や県平均を上回っていることがわかります。特に「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くか」の質問には、約7割が「当てはまる」の回答です。数学の学習は、答えを導く過程が大切になります。今後も、分かりやすい授業を実践し、学力向上に努めます。

# 質問紙調査の結果と考察

全国・学力学習状況調査では、学力調査と併せて、質問紙調査を実施しています。その結果について考察します。

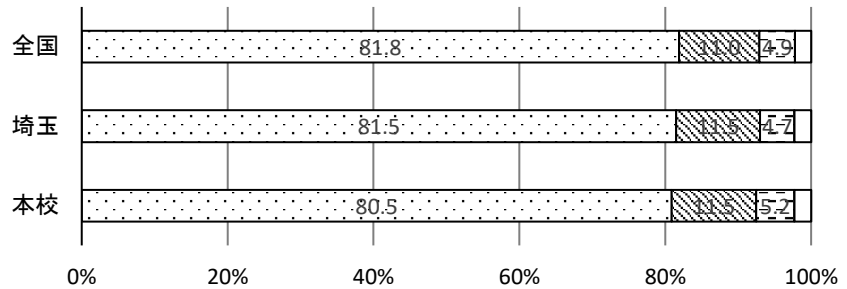
## <基本的な生活習慣等>



3年生は、9割以上が「食べている」「どちらかといえば、食べている」と回答しています。また、「全く食べていない」と回答した生徒は4人だけでした。

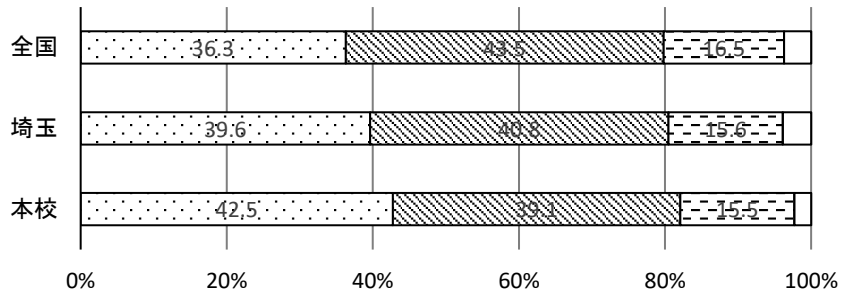
今後も、朝食を毎日摂取できますよう、各ご家庭でのご協力をお願いします。

朝食を毎日食べていますか



就寝時刻については、約8割の3年生が、ほぼ毎日同じくらいの時刻に寝ていることがわかり、全国、件の平均とほぼ同じ結果になりました。

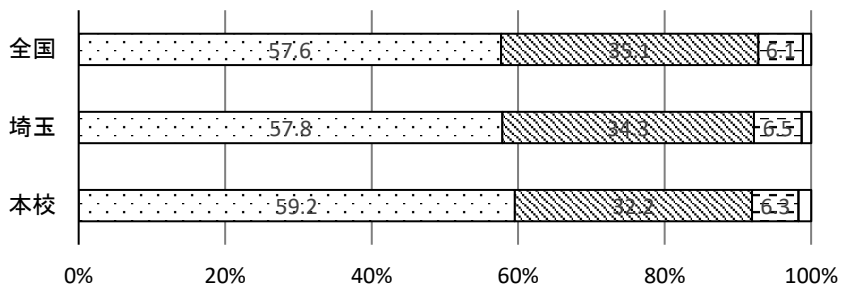
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



起床時刻についても同様です。同じくらいの時刻に「起きている」と「どちらかといえば起きている」を合わせると9割以上になりました。

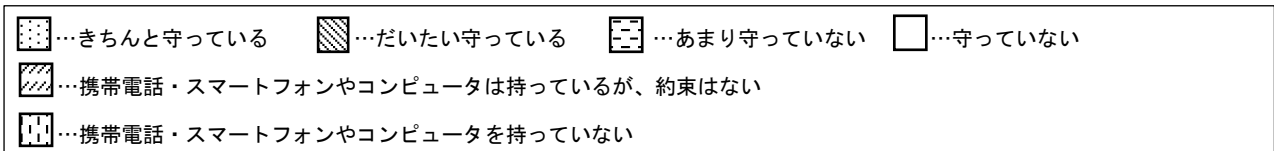
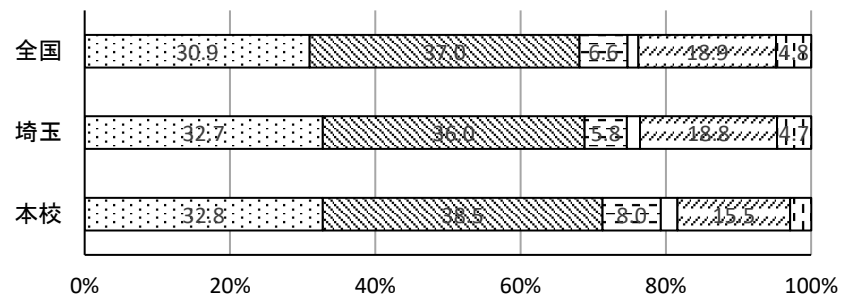
本校には、遅刻する生徒がほとんどいないのも、この調査結果から納得できます。

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方の約束を決め、それをしっかり守っている生徒が7割以上います。しかし、約束がない家庭が15%もあるので、家族で話し合い、約束を決めていただきたいと願います。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



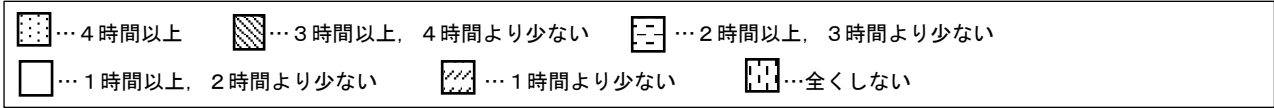
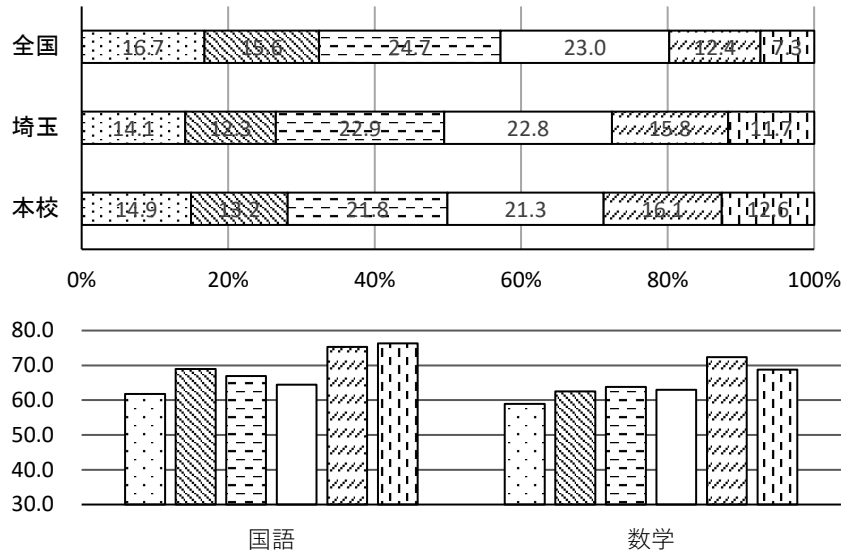
テレビゲーム等をしている時間の調査です。本校は埼玉県 averages とほぼ同じ傾向です。

1日1時間以上ゲームをしている生徒がおよそ7割います。それだけテレビゲームやスマートフォンを使ったゲームが普及していることが分かります。

学力との相関関係は、やはり「1時間より少ない」と「全くしない」と回答した生徒の方が正答率が高いことが分かります。

ご家庭では、ゲームの時間を決め、1日1時間以内になるようご指導願います。

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

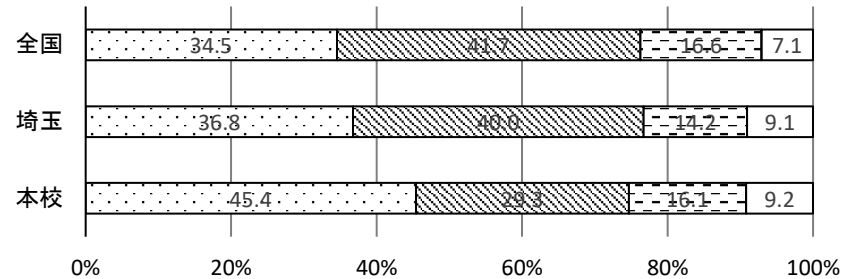


<挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等>



「自分には良いところがあると思いますか」の質問に、「当てはまる」と回答した生徒は全国・県平均を上回っていますが、「どちらかといえば、当てはまる」を含めると、全国・県平均をやや下回りました。

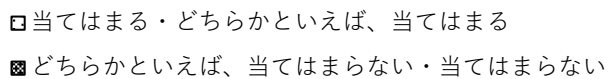
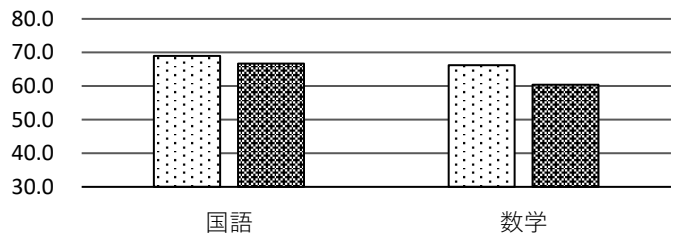
自分には、よいところがあると思いますか



このことと、各教科の平均正答率との関係を調べると、肯定的な

回答をした生徒の方が、平均正答率が高いことが分かります。

授業や学校行事等、様々な教育活動の中で、生徒のよいところを認め、自己肯定感を高める指導を繰り返していきます。



「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に肯定的に回答した生徒は約6割で、全国・県平均より低い結果でした。

キャリア教育をさらに充実させ、夢や目標を持った生活ができるようにしていきます。

「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」の質問に肯定的に回答した生徒は約8割で、全国・県平均よりもやや低い結果になりました。

このことと、各教科の平均正答率の関連を見ると、肯定的に回答している生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られました。

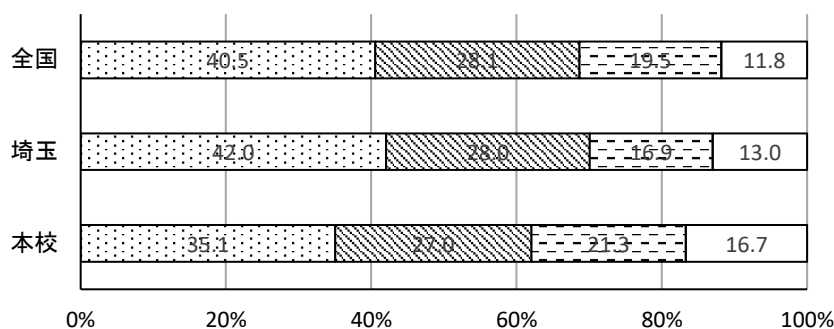
諸活動の中で、最後まで粘り強く取り組む態度を育成していきます。

「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」の質問に、肯定的に回答した生徒は約65%で、ほぼ全国平均と同じになりました。

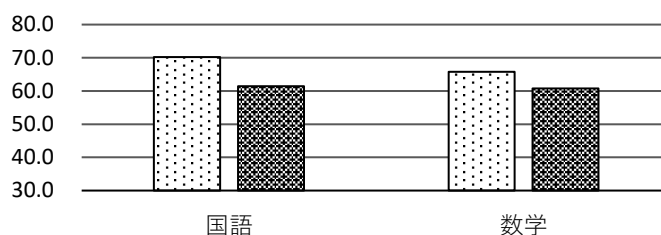
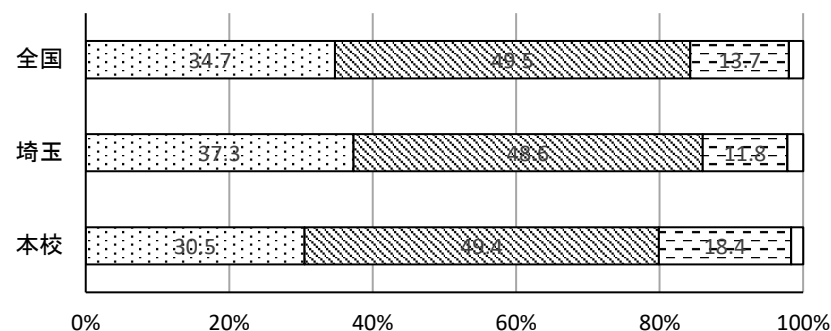
このことと、各教科の平均正答率の関係を見ると、肯定的に回答している生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られました。

これからも、チャレンジする場面を多くしていきたいと思います。

将来の夢や目標を持っていますか

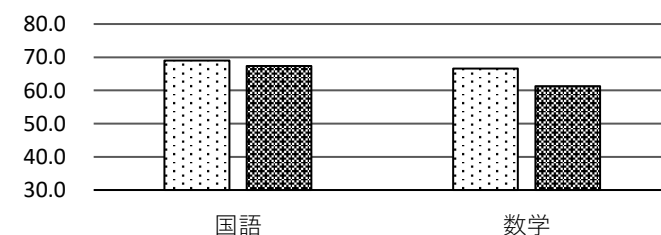
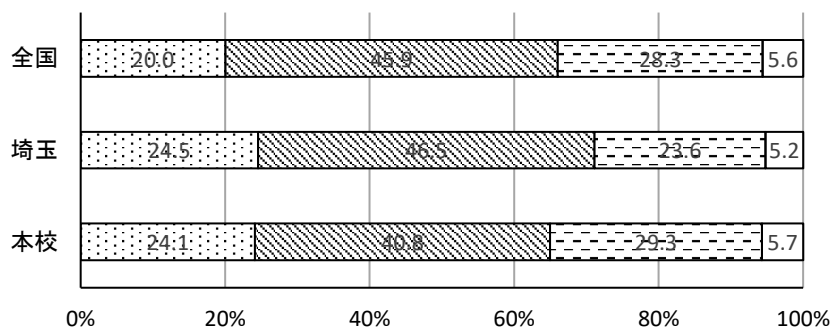


自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



□ 当てはまる・どちらかといえば当てはまる  
 ■ どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



□ 当てはまる・どちらかといえば、当てはまる  
 ■ 当てはまらない・どちらかといえば当てはまらない

「人が困っているときは、進んで助けていますか」では肯定的な回答が8割以上ありますが、全国・県平均をやや下回っています。

埼玉県の教育振興基本計画では「豊かな心の育成」の中で、他者を思いやる心など豊かな人間性を育む必要性が示されています。道徳教育を要として育成していきます。

9割以上の生徒が、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていますが、全国・県平均よりやや少ない割合になっています。わずか14人ですが否定的な回答をしている生徒の思いを変えられるように、全ての教育活動で指導していきます。

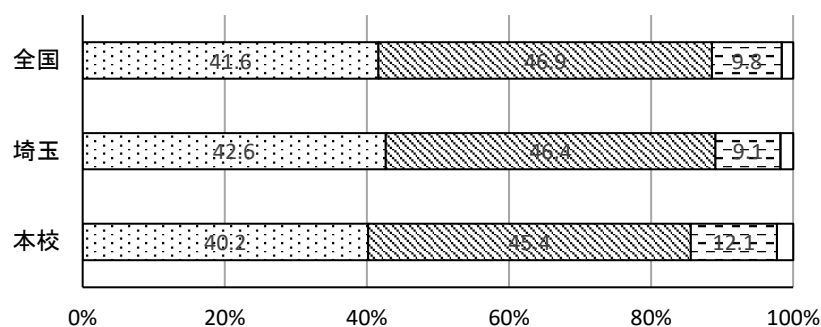
本校の教職員全員が、「いじめは、いつでも、どの子にも、どの学校でも起こり得る」という考えに立ち、子供達が、豊かな学習環境の中で、安全に安心して学ぶことができる学校を目指していきます。また、日々の教育活動の中で、子供達が、自分としっかり向き合い、自らの生き方を考え高めていけるように、さらに人や社会、自然や文化等とのかかわりの中で自他を大切にする心を育ていけるように、人としての生き方を学ぶ教育にも積極的に取り組んでいきます。

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問には、約9割以上の生徒が肯定的な回答をしています。全国・県の平均をやや下回っています。

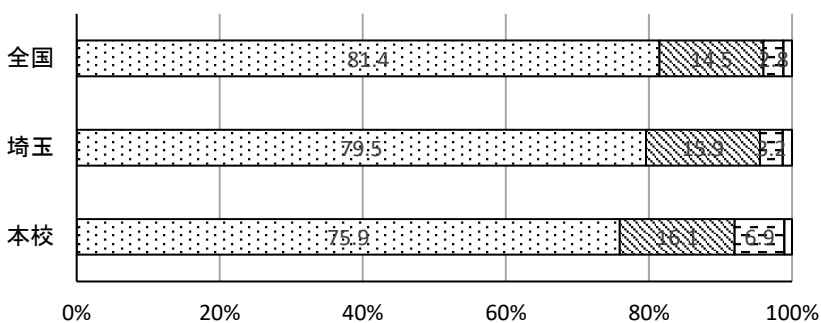
特別活動やキャリア教育を中心に体験的な活動を通して、思いを育てていきます。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に肯定的な回答をしている生徒は、約8割で全国・県平均とほぼ同じでした。2割の楽しいと思っていない生徒も楽しく学べる学校づくりに努めてまいります。

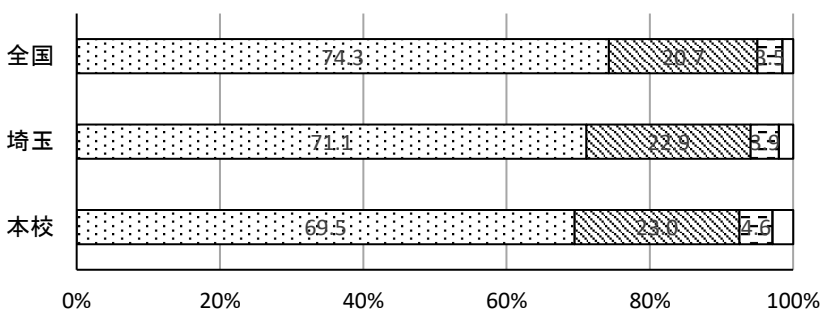
人が困っているときは、進んで助けていますか



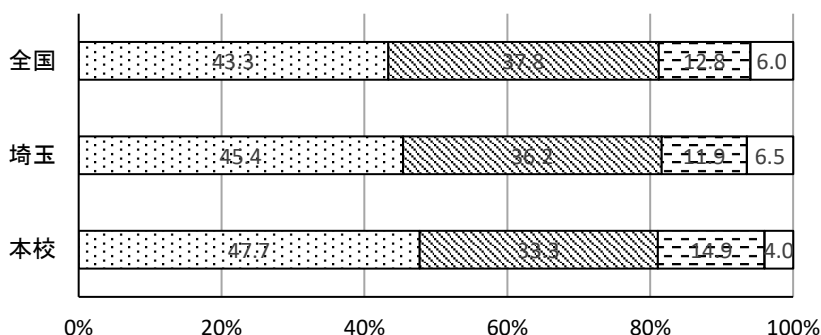
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



人の役に立つ人間になりたいと思いますか



学校に行くのは楽しいと思いますか





「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」の質問に肯定的な回答をした生徒が8割以上います。

現在3年生と校長面談をしていますが、自分の考えを言える生徒が多いと感じています。

今後も授業での発表などで、表現力を高めていきます。

「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思う生徒は約7割いますが、全国・県平均よりやや低い結果になりました。

教科指導や学級会活動の中で議論や討論をする場を設け、考える楽しさを伝えていきます。

「友達と協力するのは楽しいと思いますか」に肯定的な回答をしている生徒は9割以上で、全国・県平均とほぼ同じになりました。

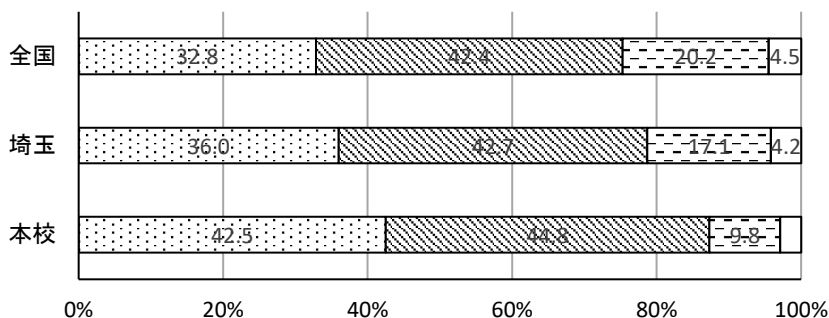
総合的な学習の時間の体験的活動や学校行事で、協力して取り組む場面を多く設定し、さらに高めていきます。

### <学習習慣、学習環境等>

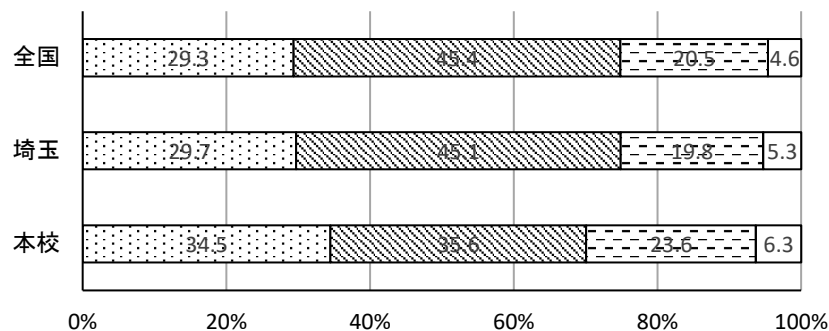
家で計画的に勉強できている生徒が6割以上いて、ほぼ全国・県平均と同様の結果になりました。

本校では、定期テストの前には家庭学習計画表を作成させ、勉強に取り組ませています。ご家庭においては普段から、計画的な勉強ができますようにご協力をお願いします。

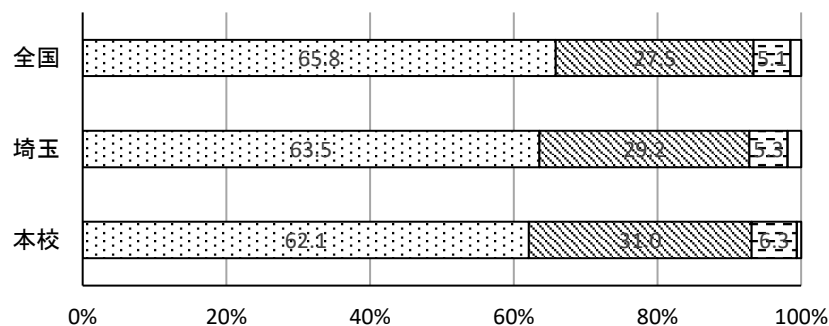
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか



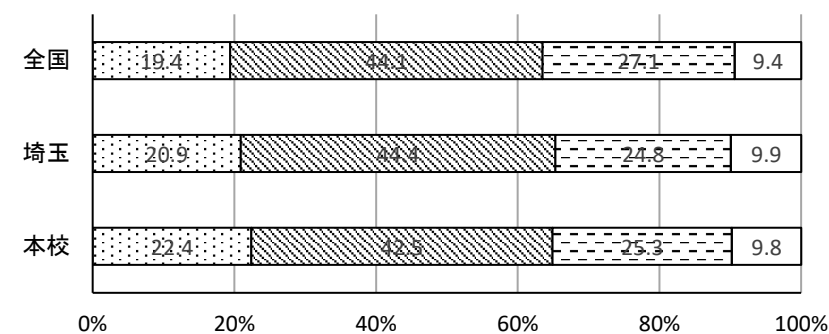
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



友達と協力するのは楽しいと思いますか



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



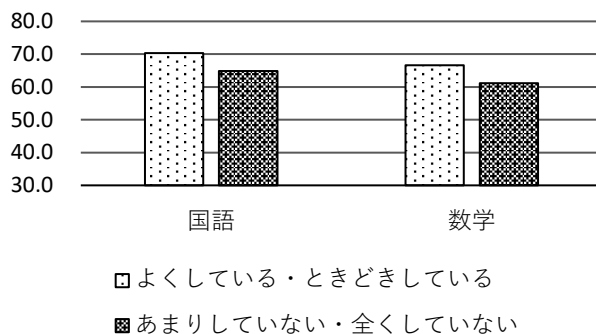
…よくしている
  …ときどきしている
  …あまりしていない
  …全くしていない

このことと、各教科との平均正答率との相関関係を見ると、当然ですが、「よくしている」「ときどきしている」と回答した生徒の方が正答率は高くなりました。

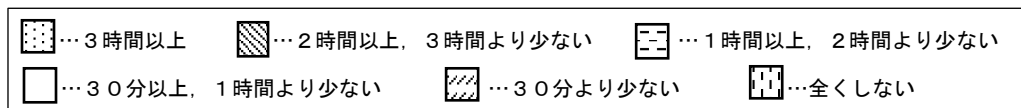
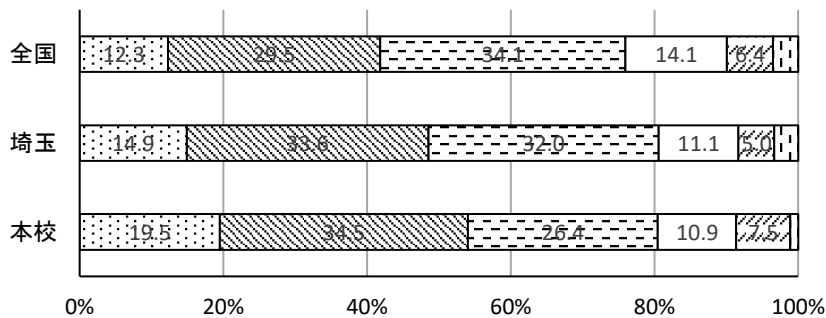
家庭で計画的に勉強することの大切さを感じてほしいと思います。

平日1日あたりの家庭学習の時間についての質問です。1時間以上までの割合は県平均とあまり変わりませんが、3時間以上は全国・県平均を上回っています。

これからも、家庭学習の大切さや、家庭学習の仕方などを指導していきます。

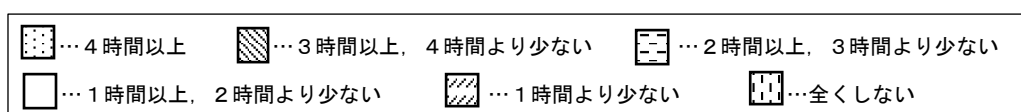
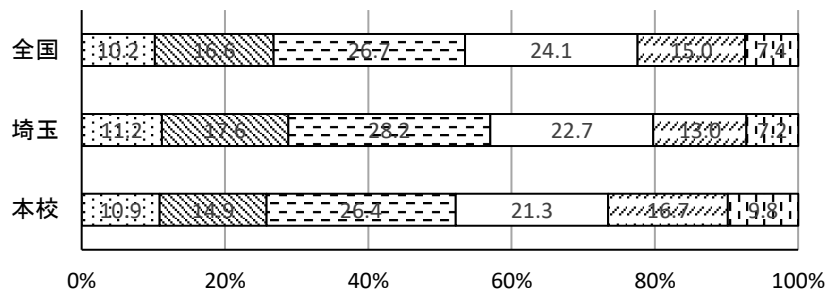


学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



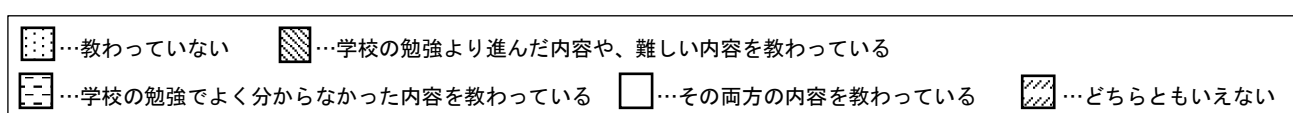
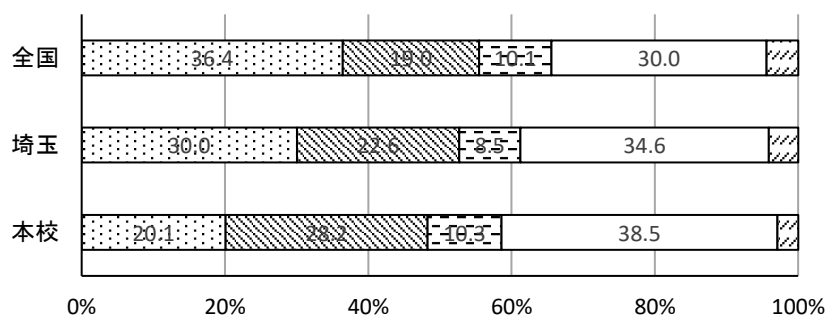
休日1日あたりの家庭学習の時間についての質問です。全国平均とほぼ同じになりましたが、「全くしない」という生徒の割合が全国・県平均よりもやや高くなっています。

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



本校の3年生の約8割が、学習塾や家庭教師の先生等に勉強を教わっていることが分かります。また、補充的な内容よりも発展的な内容を含めて教わっている生徒が多いことも分かります。

学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)



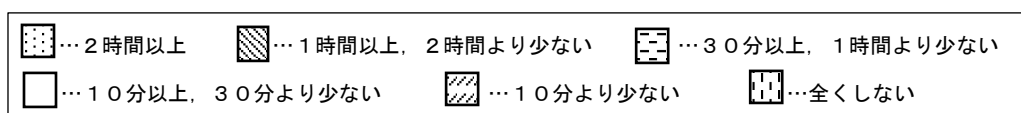
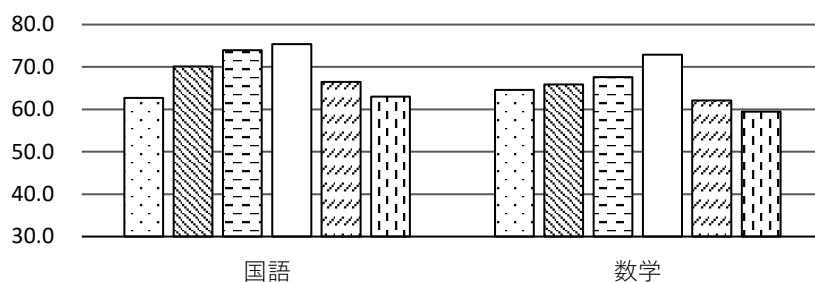
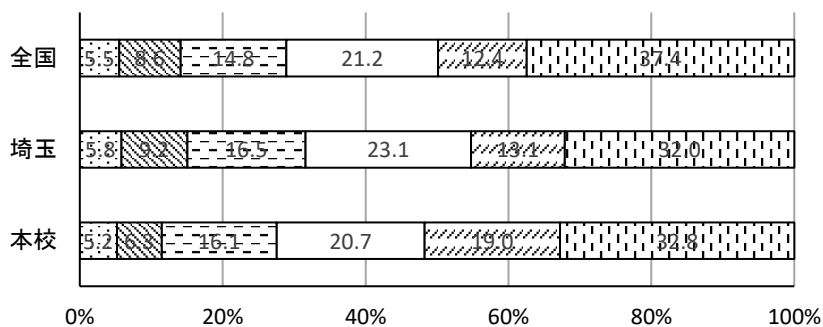
1日あたりの読書量の調査です。全く読書をしないという3年生が、全国平均より少ないですが、3割以上いることが分かります。

また、読書量と各教科の正答率の相関関係を見てみると、10分から1時間程度の読書を毎日行っている生徒の方が正答率は高いことが分かります。

本校では毎日10分間の朝読書を実施していますが、これからも継続し、読書の大切さを伝えていきたいと思えます。

また、読書はすべての学習の基本になるものであると捉え、今後も読書指導に取り組んでいきます。

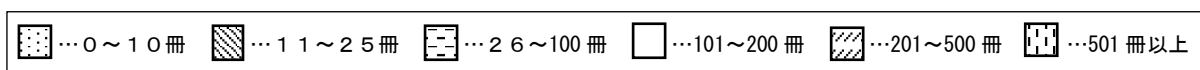
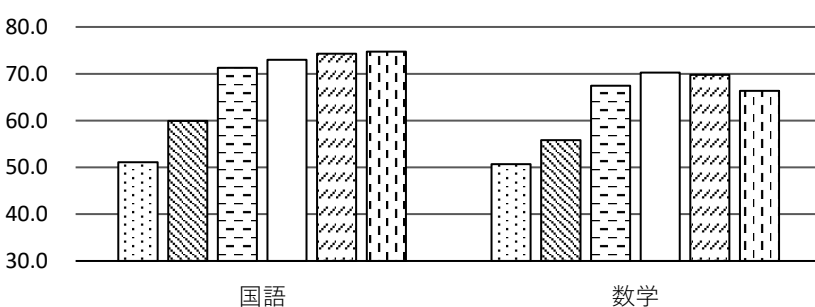
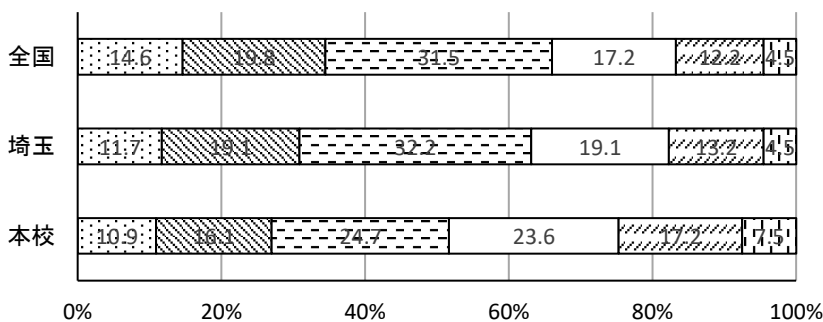
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



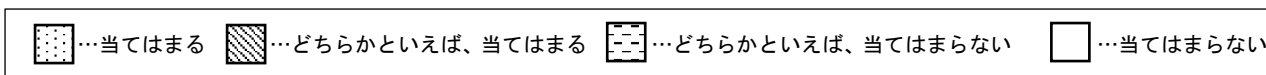
家庭にある本の冊数の調査です。全国・県平均と比べると、たくさん本がある家庭が多くあります。このことと、前問の読書量との関係もあると思われませんが、各教科の正答率とも相関関係があるようです。特に、国語は、家に本が多くあるほど、正答率が高くなっていることが分かります。

ご家庭においては、読書のできる環境づくりを意識していただければと思います。

あなたの家には、およそどのくらい本がありますか(一般の雑誌, 新聞, 教科書は除く)



## <地域や社会に関わる活動の状況等>



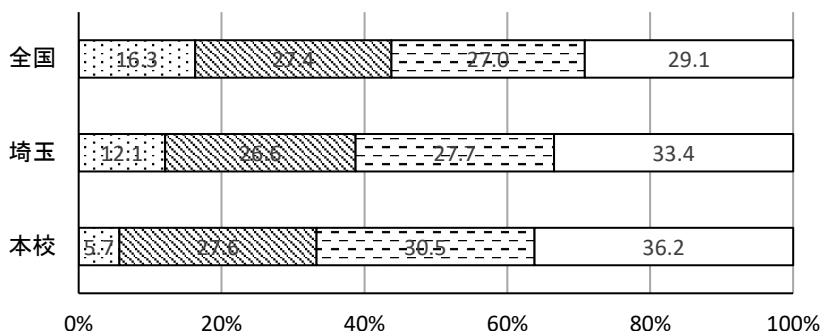
地域の行事への参加については、約3割の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答していて、全国や県平均よりも低い結果となりました。

新型コロナウイルス感染防止から、地域の行事が中止となっているため、参加したくてもできない状況もあると思われます。

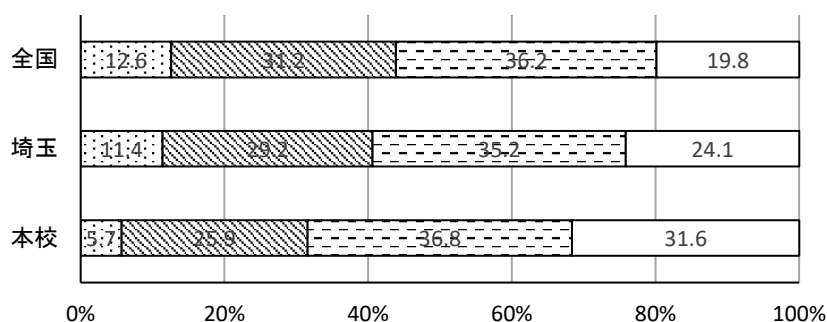
また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」も同様で、約3割の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」でした。

今後は地域協働学校（ふじみ野市版コミュニティースクール）を機能させ、学校運営協議会や町会長様を通して地域行事への参加を呼びかけていきたいと思しますので、ご家庭や地域でもご協力をお願いします。

今住んでいる地域の行事に参加していますか



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



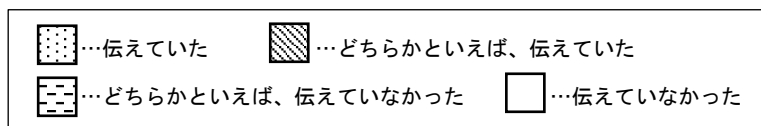
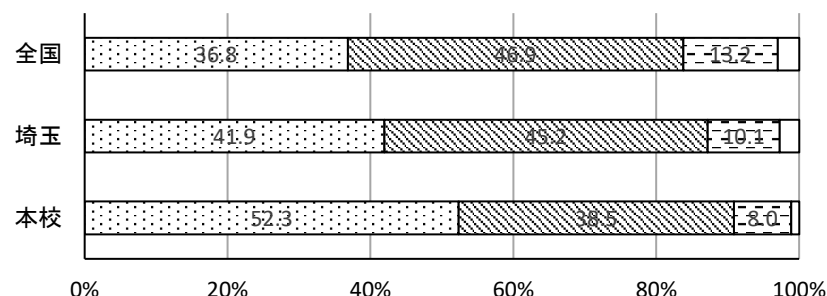
## <主体的・対話的で深い学びの視点に関すること>

今年度から全面実施となった学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。

調査対象となった3年生は、入学時から移行期間として授業改善に取り組んできたところです。1, 2年生のときのこれらの取組状況について質問した結果をグラフに示しました。

話し合い活動で自分の考えをしっかりと伝えられたかについては、「伝えていた」「どちらかといえば、伝えていた」生徒が9割を超え、全国・県平均を上回っています。

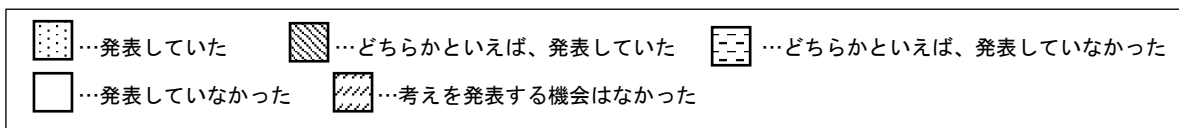
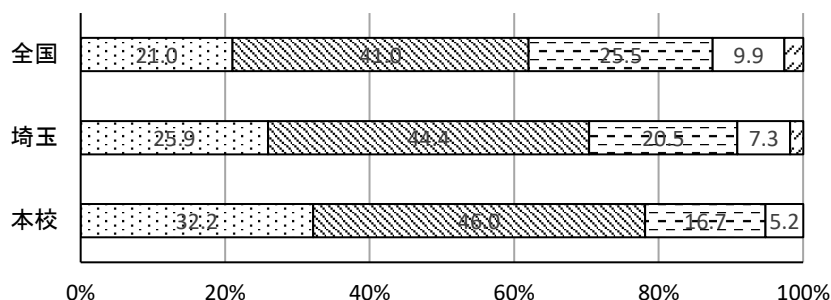
1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか



また、工夫して発表することについても、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」生徒が8割近くいて、全国・県平均を上回っています。

なお、「考えを発表する機会がなかった」と回答する生徒は一人もいませんでした。

1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

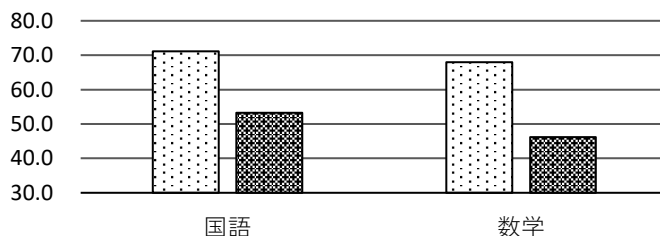
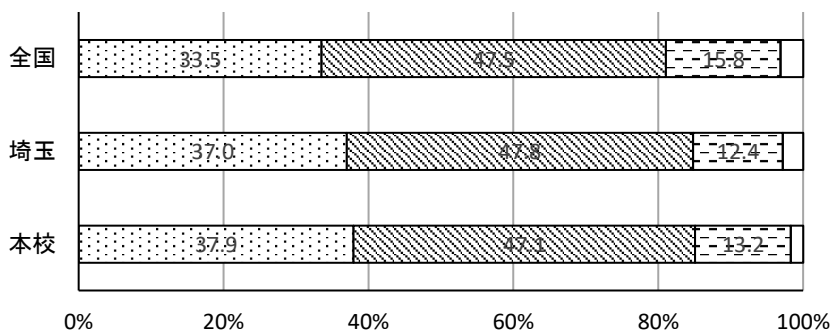


「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に、肯定的に回答した生徒は8割を超え、全国平均よりやや高い結果になりました。

この質問と各教科の平均正答率との相関関係を見ると、肯定的な回答をした生徒は正答率が高いことが分かりました。

授業の中で、自ら考え自ら解決しようとする態度が大切であることが分かります。

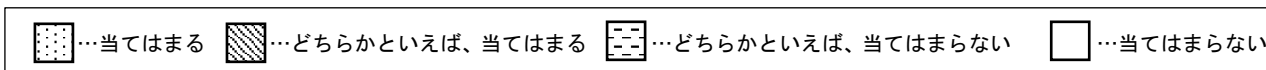
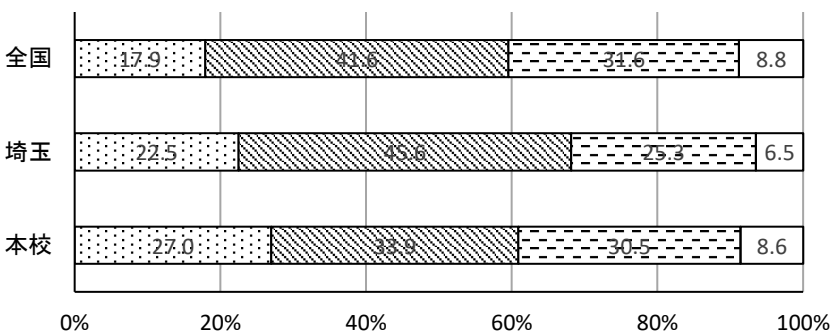
1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



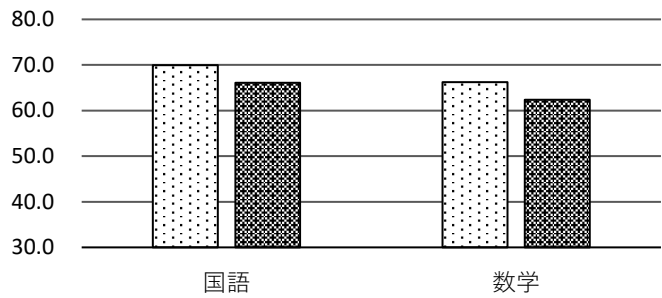
□ 当てはまる・どちらかといえば、当てはまる  
■ どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない

「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか」の質問に、肯定的に回答した生徒は約6割で、全国平均とほぼ同じ、県平均よりもやや低い結果になりました。

1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか



このことと、各教科の平均正答率の関係をみると、肯定的な回答をした生徒の方が、教科の正答率がやや高い傾向がありました。



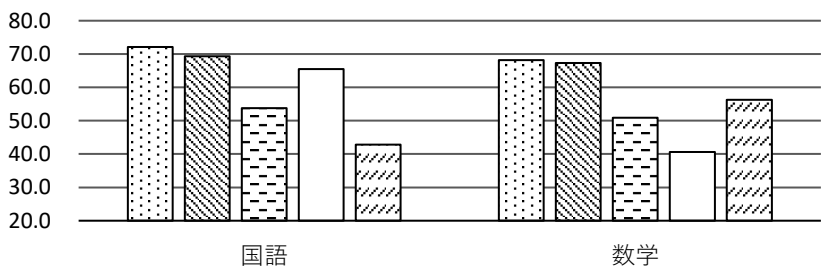
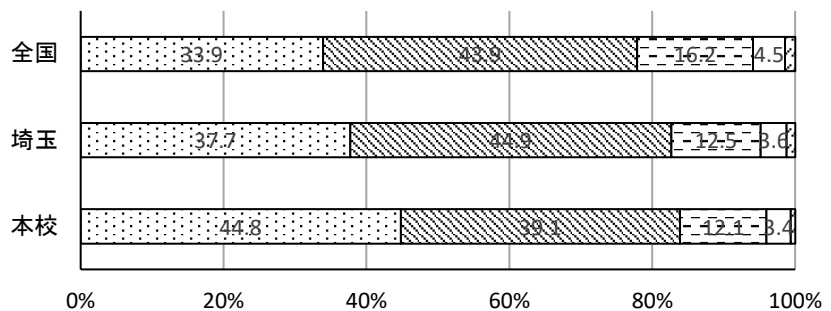
□ 当てはまる・どちらかといえば、当てはまる  
 ■ どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない

「深い学び」についても8割以上の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しており、全国・県平均を上回っています。

このことと各教科の平均正答率の相関関係についても、肯定的な回答をした生徒は平均正答率が高くなりました。

今後も、新しい学習指導要領に沿った指導方法の工夫・改善に努めてまいります。

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



□ …当てはまる    ■ …どちらかといえば、当てはまる    ▨ …どちらかといえば、当てはまらない  
 □ …当てはまらない    ▩ …学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を行っていない

### ＜新型コロナウイルス感染症の影響＞

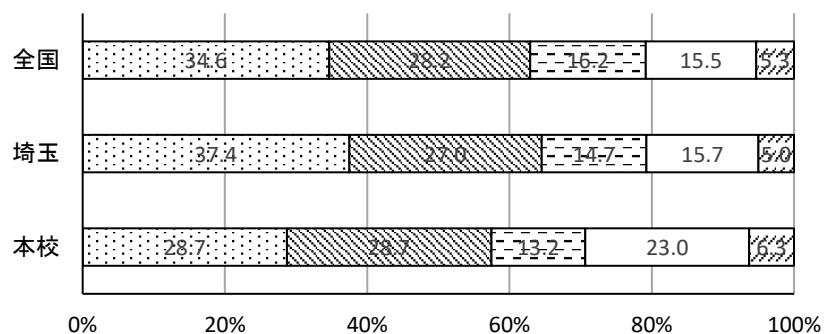
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4月、5月の臨時休業と6月の分散登校など、感染防止対策がとられました。今回の調査では、その時の生徒の不安や生活、学習への対応について質問しています。その結果を報告します。

休校期間中の勉強についての不安は、全国、県平均と比べて少ない傾向でした。

担任が一人一人の家庭訪問を行ったり、電話による問い合わせなどに答えたりしたからだと思われる。

今後も感染不安などに丁寧に対応していきたいと思えます。

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか



□ …当てはまる    ■ …どちらかといえば、当てはまる    ▨ …どちらかといえば、当てはまらない  
 □ …当てはまらない    ▩ …思い出せない

休校期間中、計画的に学習できたかについては、できた生徒は、全国、県平均と比べて多かったです。

学校メールで課題を伝え、ホームページに掲載した課題に取り組めたからだと思います。しかし、約半数の生徒が「できていない」と応えていますので、計画的な学習の仕方について、引き続き指導していきます。

規則正しい生活については、約半数ができていなかったようです。

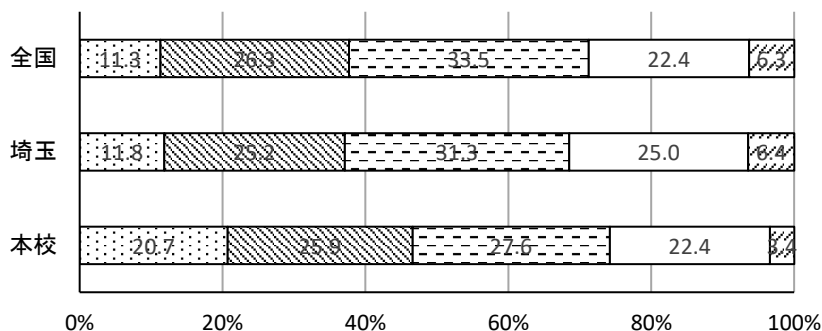
このことについても、学校では普段から規則正しい生活を送れるように指導していきますので、ご家庭でもご協力をお願いします。

分からないことがあったときの対応について、本校は、1「先生に聞いた」、4「先生・友達・家族以外の人に聞いた」が全国、県平均より多くなっています。

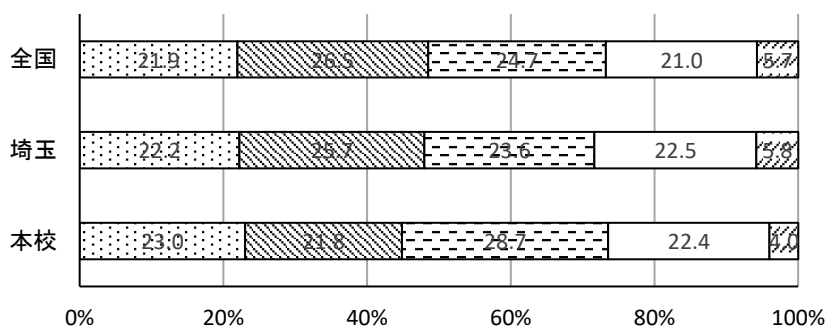
<学習習慣・学習環境>のところで示した通り、本校は塾に通う生徒が多いため、塾の先生などに聞いたのだと思われます。

また、5「自分で調べた」、6「分からないことをそのままにした」が全国・県平均よりも少なくなっています。特に、自分で調べることについては10ポイント以上も低い値になっていますので、「分からないことは、まず自分で調べる」という習慣も指導していきたいと思ひます。

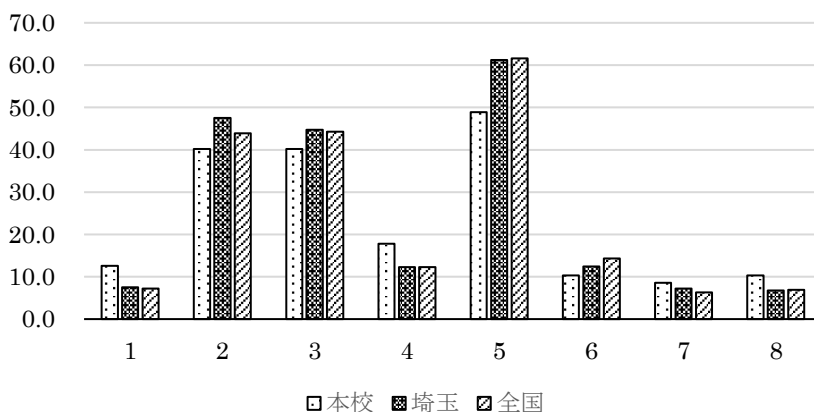
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか



新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか



新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）



- 1…先生に聞いた      2…友達に聞いた      3…家族に聞いた
- 4…1, 2, 3以外の人に聞いた      5…自分で調べた
- 6…分からないことをそのままにした      7…分からないことがなかった
- 8…思い出せない

令和3年度全国学力・学習状況調査の報告書・集計結果については、  
**文部科学省のホームページからご覧いただけます。**  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/1419141\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/sonota/1419141_00001.htm)

